

高知県立坂本龍馬記念館 平成30年度企画展

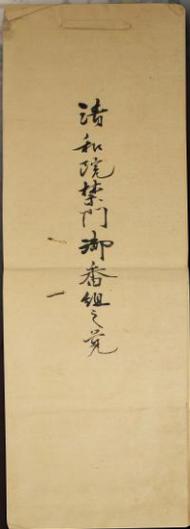
御所をまもった 土佐の士 サムライ

—藩邸史料にみる
警衛の世界—
展



三条実美公履歴より清和院門の絵図

背景：文久改正 新增細見京絵図大全（部分）
題字：坂本龍馬書簡慶応3年5月28日お龍宛より
掲載資料はすべて高知県立坂本龍馬記念館所蔵



清和院禁門御番組之覚

平成31(2019)年3月2日(土)～4月21日(日)

開館時間 午前9時～午後5時(最終入館 午後4時30分) 年中無休

観覧料 一般 700円(20名以上の団体560円) 高校生以下無料

※高知県または高知市の長寿手帳所持者は無料
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者1名は無料
※駐車場：バス4台・普通車42台(うち障害者用駐車場2台)

主催 高知県立坂本龍馬記念館(公益財団法人高知県文化財団)

後援 高知新聞社・朝日新聞高知総局・毎日新聞高知支局・読売新聞高知支局・日本経済新聞社高知支局・共同通信社高知支局・時事通信社高知支局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSS高知さんさんテレビ・NHK高知放送局・エフエム高知



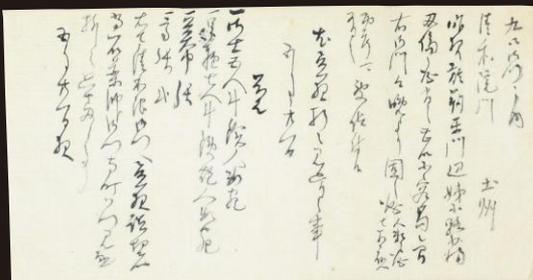
高知県立坂本龍馬記念館
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum
〒781-0262 高知県高知市浦戸城山830
TEL 088-841-0001 FAX 088-841-0015
mail ryoma@ryoma-kinenkan.jp
<http://www.ryoma-kinenkan.jp/>

御所をまもった 土佐の士

藩邸史料にみる
警衛の世界―展

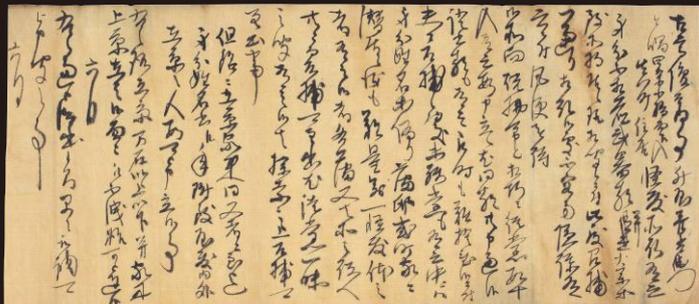
捕縛された古高
俊太郎の供述
で、浪士による
御所の焼き払い
計画が明らかと
なる。

この端を発す
池田屋事件
は、治安維持を
担う土佐藩とも
無関係ではな
かった。

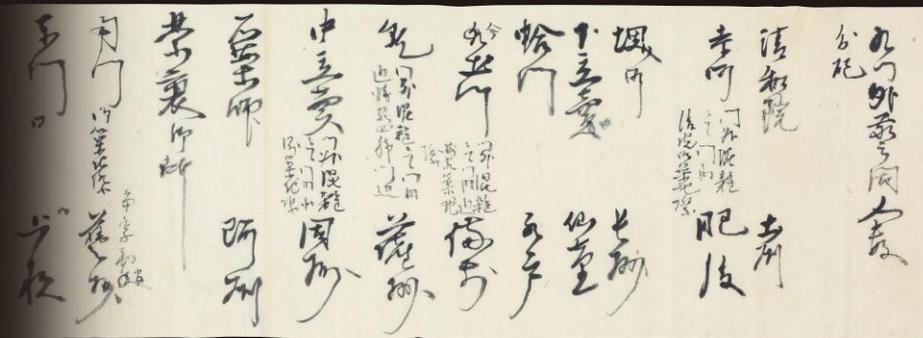


▲清和院門警衛の命令書

御所警衛のきっかけとなったのが、当時の朝廷政治をリードしていた公卿姉小路公知の暗殺事件である。事件翌日に出された緊迫感あふれる命令書。

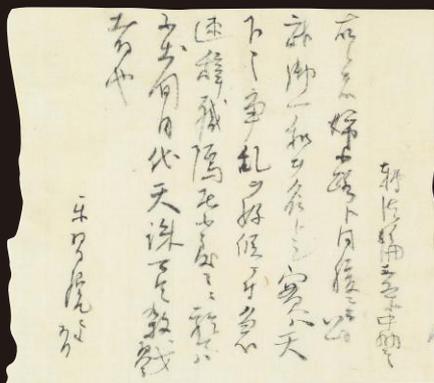


▲七卿落図



▲禁門警衛の分担表

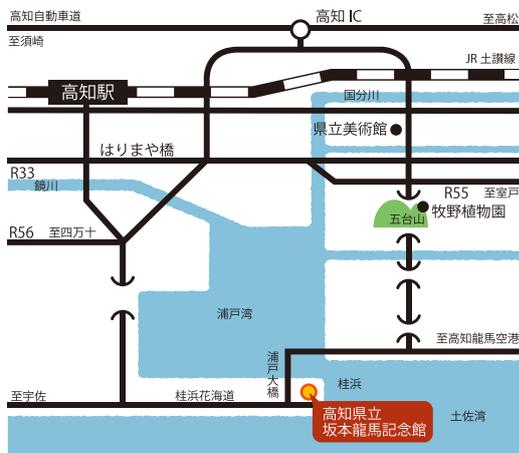
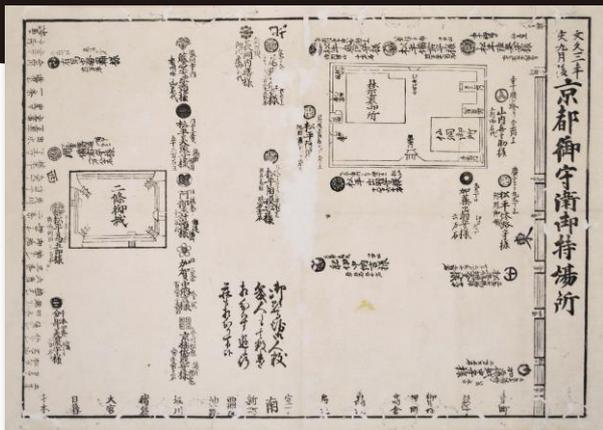
御所の門(禁門)を守る任務に諸藩が割り振られた。土佐藩をはじめ、薩摩や長州など有力藩の名が並ぶ。御所警衛はオールスターキャストであたるべき最重要任務であった。



▲三条実美への脅迫状

幕末の京都はテロが横行し、その対象は公卿にも及んだ。テロの抑止にあたった土佐藩にとって、なかでも姻戚関係にある三条家の安危は最大の関心事だった。

▲文久三年京都御守衛御持場所図



- JR高知駅からとさでん交通バス「桂浜」行、「龍馬記念館前」下車徒歩約2分
- 高知駅発着で龍馬記念館などをめぐるバス「MY遊バス」(一日乗り放題)もお得です。毎日運行
- 車・タクシー利用の場合、JR高知駅から約35分、高知空港から約25分、高知インターから約25分

高知県立坂本龍馬記念館所蔵
「土佐藩京都藩邸史料」から、
京都での活動実態に迫る
古文書を一挙公開

幕末政治の展開により京都が政局の中心と化すと、龍馬をはじめとする志士はもちろん、土佐藩としてもそこでの活動に注力するようになりました。上京した諸藩に期待されたのは特に市中の治安維持や朝廷の保護で、土佐藩も御所の出入口である九つの門(禁門)のうち、清和院門の警衛を担いました。こうした当時の藩の活動実態は、当館所蔵「土佐藩京都藩邸史料」に詳しく見ることができます。これらの古文書の内容を読み解くことで、土佐藩が担った警衛の世界を紹介します。この企画展を通じて、有力外様藩として時に全国の政治をリードした土佐藩の活躍に触れてください。